

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第13期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	スタイライフ株式会社
【英訳名】	Stylife Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤田 雅章
【本店の所在の場所】	東京都港区北青山一丁目2番3号
【電話番号】	03-5785-7001
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 中 研悟
【最寄りの連絡場所】	東京都港区北青山一丁目2番3号
【電話番号】	03-5785-7001
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 中 研悟
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第12期 第2四半期連結 累計期間	第13期 第2四半期連結 累計期間	第12期
会計期間	自 平成23年 4月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成24年 4月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成23年 4月1日 至 平成24年 3月31日
売上高 (千円)	3,774,593	2,601,939	8,041,346
経常損失() (千円)	282,725	196,075	419,084
四半期(当期)純損失 () (千円)	275,875	443,427	550,339
四半期包括利益又は包括 利益 (千円)	275,799	443,427	549,396
純資産額 (千円)	2,001,938	1,284,913	1,728,341
総資産額 (千円)	4,596,937	3,132,561	4,028,007
1株当たり四半期(当 期)純損失() (円)	13,061.49	20,640.88	25,835.13
潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	43.5	41.0	42.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	23,735	90,215	21,656
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	87,915	38,342	345,082
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	42,758	336,947	221,294
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	298,553	300,254	509,248

回次	第12期 第2四半期連結 会計期間	第13期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成23年 7月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成24年 7月1日 至 平成24年 9月30日
1株当たり四半期純損失 () (円)	11,659.09	17,608.31

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第12期、第12期第2四半期連結累計期間及び第13期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、平成24年11月9日開催の取締役会においてファッションコマース事業における一部門であったLook!s部門（雑誌を使った通信販売部門）の廃止を決定いたしました。

また、主要な関係会社において、平成24年5月14日付でファッションコマース事業の強化を目的とし、楽天株式会社、株式会社バーンデストジャパンリミテッド、及び株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドと業務・資本提携契約を締結いたしました。本契約に伴い、平成24年5月15日付で楽天株式会社が株式会社バーンデストジャパンリミテッドより、当社株式を取得いたしました結果、以下のとおり異動しております。

（1）親会社からその他の関係会社への異動

当該異動に係る親会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

（a）親会社でなくなり、その他の関係会社となった会社

- ・名称 株式会社バーンデストジャパンリミテッド
- ・住所 東京都港区北青山一丁目2番3号
- ・代表者の氏名 代表取締役社長 寺田 和正
- ・資本金の額 19百万円
- ・事業の内容 アパレル事業

（b）親会社でなくなり、その他の関係会社となった会社

- ・名称 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド
- ・住所 東京都港区北青山一丁目2番3号
- ・代表者の氏名 代表取締役社長 寺田 和正
- ・資本金の額 2,132百万円
- ・事業の内容 バッグ事業、ジュエリー事業、アパレル事業、インターネット事業

当該異動の前後における当該親会社の所有に係る当社の議決権の数、及び当社の総株主等の議決権に対する割合

（a）親会社でなくなり、その他の関係会社となった会社

株式会社バーンデストジャパンリミテッド

	議決権の数	総株主等の議決権に対する割合
異動前	11,000個	51.2%
異動後	4,018個	18.7%

（b）親会社でなくなり、その他の関係会社となった会社

株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド

	議決権の数	総株主等の議決権に対する割合
異動前	-（間接所有分：11,000個）	-（間接所有分：51.2%）
異動後	-（間接所有分：4,018個）	-（間接所有分：18.7%）

株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドは株式会社バーンデストジャパンリミテッドの全株式を保有する親会社となり、当社議決権を間接保有しております。

(2) その他の関係会社の異動

当該異動に係るその他の関係会社の名称

(a) その他の関係会社となった会社

- ・ 名称 楽天株式会社
- ・ 住所 東京都品川区東品川四丁目12番3号
- ・ 代表者の氏名 代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史
- ・ 資本金の額 108,191百万円
- ・ 事業の内容 総合インターネット・サービス業

当該異動の前後における当該その他の関係会社の所有議決権の数及び当社の総株主等の議決権に対する割合

(a) 楽天株式会社

	議決権の数	総株主等の議決権に対する割合
異動前	- 個	- %
異動後	6,982個	32.5%

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として一部に回復の兆しが見られたものの、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高いなかで、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動が景気を下押しするリスクとなるなど、先行きは未だに不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するファッション、生活雑貨業界におきましても、景気の先行きが不透明な状況の中、個人消費が本格的な回復に至っておらず、依然として予断を許さない状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、ファッションコマース事業において、集客力とサービスの向上をよりスピーディーに進め、成長基盤を強固なものとするべく、本年5月に国内最大のショッピングサイトの運営をはじめ、多様なインターネット・サービスを展開する楽天(株)と業務・資本提携を行い、同社グループとの連携に着手いたしました。

なお、前年同期と比較し、ファッションコマース事業における通信販売雑誌「Look!s」、「大人Look!s」の発行を休止していること、コスメ事業の中核であった(株)ハイマックスの全株式を(株)スクロールに譲渡し、前連結会計年度末に同社が連結対象から外れたことから、前年同期に比べ売上高は減収となりました。

一方、利益面では収益が悪化していたLook!s部門の休止と(株)ハイマックスが連結対象から外れたことから、前年同期に比べ改善しております。四半期純利益につきましては中期的な成長を目指し、改善を検討していたLook!s部門につきましては、早期改善が見込めず収益を圧迫していることから同部門の廃止を決定し、これに伴う事業構造改善費用129百万円とファッションECサイトの統廃合によるソフトウェアの減損損失38百万円を特別損失に計上し、さらに法人税等調整額76百万円を計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高26億01百万円（前年同期比31.1%減）、営業損失1億88百万円（前年同期は2億79百万円の損失）、経常損失1億96百万円（前年同期は2億82百万円の損失）、四半期純損失4億43百万円（前年同期は2億75百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔ファッションコマース事業〕

ファッションコマース事業は、ファッションECサイト『Stylife』(<http://www.stylife.co.jp/>)、『nuan⁺』(<http://www.stylife.co.jp/nuan/>)、『OUTLET CHU:SE』(<http://www.stylife.co.jp/chuse/>)、モバイルECサイト『スタイライフ Look!s』の自社メディア及びKDDI(株)、沖縄セルラー電話(株)との共同サイト『au Brand Garden』や(株)バンダイナムコゲームスとの共同サイト『LOVE EXバーゲン』等によるファッション関連アイテムの通信販売が主なものであります。

当第2四半期連結累計期間のファッションコマース事業の業績は、ネット部門での売上高は前年同期を上回ったものの、通販雑誌「Look!s」を休止していた影響により売上高22億83百万円（前年同期比22.1%減）、営業損失1億96百万円（前年同期は2億29百万円の損失）となりました。

〔生活雑貨事業〕

生活雑貨事業は、ノーマディック(株)におけるバッグを中心とする生活雑貨の卸売が主なものであります。

当第2四半期連結累計期間の生活雑貨事業の業績は、物流体制や生産体制の強化により収益力が高まり、売上高3億18百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益8百万円（前年同期は11百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ803百万円減少し、1,528百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が208百万円減少、受取手形及び売掛金が329百万円減少、商品及び製品が140百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、1,603百万円となりました。

この主な要因は、無形固定資産が75百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ895百万円減少し、3,132百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ313百万円減少し、1,543百万円となりました。

この主な要因は、支払手形及び買掛金が42百万円減少、短期借入金が200百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ138百万円減少し、304百万円となりました。

この主な要因は、長期借入金が81百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ452百万円減少し、1,847百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ443百万円減少し、1,284百万円となりました。これは、四半期純損失443百万円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末に比べ、208百万円減少し、300百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は90百万円（前年同四半期は23百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失364百万円を計上しましたが、売上債権の減少299百万円、たな卸資産の減少150百万円等の収入要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は38百万円（前年同四半期は87百万円の資金の使用）となりました。これは主に、子会社株式の売却による収入100百万円等の収入要因が、無形固定資産の取得による支出63百万円等の支出要因を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は336百万円（前年同四半期は42百万円）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出200百万円、長期借入金の返済による支出81百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	69,520
計	69,520

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	21,483	21,483	大阪証券取引所 JASDAQ (グロース)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	21,483	21,483		

(注)1. 「提出日現在発行数」欄には、平成24年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		21,483		1,494,865		291,091

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
楽天株式会社	東京都品川区東品川4-12-3	6,982	32.5
株式会社バーンデストジャパンリ ミテッド	東京都港区北青山1-2-3 青山ビル2階	4,018	18.7
株式会社パルコ	東京都豊島区南池袋1-28-2	3,223	15.0
興和株式会社	愛知県名古屋市中区錦3-6-29	1,647	7.7
大阪証券金融株式会社	大阪府大阪市中央区北浜2-4-6	561	2.6
株式会社スタートトゥデイ	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1	239	1.1
T I S 株式会社	東京都新宿区西新宿8-17-1	230	1.1
株式会社バンダイナムコホール ディングス	東京都品川区東品川4-5-15	160	0.7
岩本 眞二	東京都大田区	156	0.7
加藤 達	東京都渋谷区	138	0.6
計		17,354	80.8

(注) 1. 株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

2. 株式会社バーンデストジャパンリミテッドは株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドの100%子会社
 であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,483	21,483	
単元未満株式			
発行済株式総数	21,483		
総株主の議決権		21,483	

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役		柴田 広次	平成24年8月31日

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	509,248	300,254
受取手形及び売掛金	842,837	513,250
商品及び製品	605,610	464,633
仕掛品	11,012	13,681
原材料及び貯蔵品	33,039	20,426
未収入金	211,332	176,288
その他	119,820	41,189
貸倒引当金	824	733
流動資産合計	2,332,075	1,528,990
固定資産		
有形固定資産	57,273	54,121
無形固定資産		
のれん	196,709	190,152
その他	540,507	471,329
無形固定資産合計	737,216	661,482
投資その他の資産		
投資有価証券	742,392	742,392
その他	159,049	145,575
投資その他の資産合計	901,441	887,967
固定資産合計	1,695,931	1,603,570
資産合計	4,028,007	3,132,561
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	547,427	504,887
未払金	170,979	149,649
短期借入金	760,000	560,000
1年内返済予定の長期借入金	163,520	163,520
未払法人税等	8,900	7,487
賞与引当金	20,115	20,821
返品調整引当金	29,925	-
販売促進引当金	6,142	6,636
その他	149,662	130,624
流動負債合計	1,856,673	1,543,626
固定負債		
長期借入金	130,410	48,650
退職給付引当金	25,458	21,411
その他	287,123	233,960
固定負債合計	442,992	304,021
負債合計	2,299,665	1,847,648

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,865	1,494,865
資本剰余金	716,978	291,091
利益剰余金	483,501	501,043
株主資本合計	1,728,341	1,284,913
純資産合計	1,728,341	1,284,913
負債純資産合計	4,028,007	3,132,561

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,774,593	2,601,939
売上原価	2,487,507	1,800,890
売上総利益	1,287,086	801,048
返品調整引当金戻入額	43,418	29,925
返品調整引当金繰入額	16,306	-
差引売上総利益	1,314,198	830,973
販売費及び一般管理費	1,594,181	1,019,234
営業損失()	279,983	188,260
営業外収益		
受取利息	77	50
債務勘定整理益	4,724	-
その他	5,253	1,855
営業外収益合計	10,056	1,906
営業外費用		
支払利息	9,218	7,200
持分法による投資損失	1,756	-
その他	1,823	2,519
営業外費用合計	12,798	9,720
経常損失()	282,725	196,075
特別損失		
減損損失	-	38,541
投資有価証券評価損	854	-
事業構造改善費用	-	129,714
物流拠点移転費用	277	-
特別損失合計	1,132	168,256
税金等調整前四半期純損失()	283,858	364,331
法人税、住民税及び事業税	4,057	2,324
法人税等調整額	12,039	76,771
法人税等合計	7,982	79,096
少数株主損益調整前四半期純損失()	275,875	443,427
四半期純損失()	275,875	443,427

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	275,875	443,427
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	75	-
その他の包括利益合計	75	-
四半期包括利益	275,799	443,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,799	443,427
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	283,858	364,331
減価償却費	116,315	113,151
減損損失	-	38,541
のれん償却額	12,897	6,556
持分法による投資損益(は益)	1,756	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	974	91
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,894	4,047
賞与引当金の増減額(は減少)	2,485	706
販売促進引当金の増減額(は減少)	330	493
返品調整引当金繰入額	16,306	-
受取利息及び受取配当金	103	52
為替差損益(は益)	1,387	605
支払利息	9,218	7,200
長期前払費用の増減額(は増加)	3,955	1,216
投資有価証券評価損益(は益)	854	-
売上債権の増減額(は増加)	123,829	299,661
たな卸資産の増減額(は増加)	8,881	150,920
破産更生債権等の増減額(は増加)	101	-
未収入金の増減額(は増加)	13,355	35,043
その他の流動資産の増減額(は増加)	8,766	91,002
仕入債務の増減額(は減少)	7,431	42,540
未払金の増減額(は減少)	16,577	33,986
未払消費税等の増減額(は減少)	7,757	15,160
その他の流動負債の増減額(は減少)	3,007	3,520
その他	11,572	118
小計	9,065	99,485
利息及び配当金の受取額	103	52
利息の支払額	9,246	7,251
法人税等の支払額	13,425	2,071
法人税等の還付額	37,238	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,735	90,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	39,081	-
定期預金の払戻による収入	9,077	-
有形固定資産の取得による支出	6,366	2,925
無形固定資産の取得による支出	52,276	63,731
子会社株式の売却による収入	-	100,000
敷金及び保証金の回収による収入	-	5,000
その他	732	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	87,915	38,342

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)		200,000
長期借入金の返済による支出	110,670	81,760
株式の発行による収入	76,180	-
自己株式の処分による収入	35,400	-
配当金の支払額	9,953	-
リース債務の返済による支出	33,716	55,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,758	336,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,387	605
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	108,326	208,994
現金及び現金同等物の期首残高	406,879	509,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	298,553	300,254

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
搬送関連費用	255,306千円	165,690千円
広告宣伝費	104,838	1,140
販売促進費	198,449	113,221
支払リース料	24,399	18,147
給与	452,702	278,697
賞与引当金繰入額	15,548	15,010
減価償却費	116,315	113,099

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	337,635千円	300,254千円
預入期間が3か月超の定期預金	39,081	-
現金及び現金同等物	298,553	300,254

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	9,953	500	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

2 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成23年5月13日付で、(株)パルコから第三者割当増資の払込みを受けました。また、自己株式56,968千円についても、(株)パルコを引受先とする第三者割当により処分しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が38,090千円、資本準備金が16,522千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,494,865千円、資本剰余金が716,978千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)1
	ファッション コマース事業	コスメ事業	生活雑貨事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,930,369	490,947	353,277	3,774,593	-	3,774,593
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	56	14	70	70	-
計	2,930,369	491,004	353,291	3,774,664	70	3,774,593
セグメント損失()	229,202	39,577	11,203	279,983	-	279,983

(注)1 セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)1
	ファッション コマース事業	生活雑貨事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,283,359	318,580	2,601,939	-	2,601,939
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	100	100	100	-
計	2,283,359	318,681	2,602,040	100	2,601,939
セグメント利益又は損失()	196,408	8,147	188,260	-	188,260

(注)1 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	13,061円49銭	20,640円88銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	275,875	443,427
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	275,875	443,427
普通株式の期中平均株式数(株)	21,121	21,483

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

スタイライフ株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任
社員 公認会計士 竹野 俊成 印
業務執行社員

指定有限責任
社員 公認会計士 伊藤 恭治 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスタイライフ株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スタイライフ株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。